

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.1)京都市交響楽団
プレミアム・コンサート in 京都

ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品(世界初演)
岩代太郎 / 東風慈音ノ章

E. エルガー / チェロ協奏曲 ホ短調 Op.85

A. ドヴォルザーク / 交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」Op.95



角田 鋼亮(指揮)

佐藤 晴真(チェロ)

朝岡 聡(司会)

2023.1/25 [水] ロームシアター京都 メインホール

19:00 開演(18:00 開場)

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL:075-771-6051

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円 | 有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201 (窓口・電話とも10:00~19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

京都コンサートホールチケットカウンター 075-711-3231 (窓口・電話とも10:00~17:00 / 第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:229-699]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:55922]

e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (PC・携帯・スマートフォン)

エラート音楽事務所 075-751-0617 ※電話予約のみ

オンラインコンサートチケットお取り扱い

カーテンコール <https://curtaincall.media>

(購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストーリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。



配信サイトはこちら

公演内容に関するお問い合わせ:エラート音楽事務所 075-751-0617 視聴方法に関するお問い合わせ:カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>

主催:公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協賛:ローム株式会社

※本公演は新型コロナウイルス感染症対策を実施の上、開催いたします。ご来場のお客様はロームミュージックファンデーションWEBサイトをご確認いただき、ご来場ください。

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催いたします。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



©井上写真事務所 井上嘉和

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra(管弦楽)

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等受賞。2017年4月から下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立。2020年4月から第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任することが決定し、京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©Hikaru Hoshi

角田 鋼亮 Kosuke Tsunoda (指揮)

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共演している。

2016-2020年、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者。2016年、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市立文化振興事業第36回芸術創造賞」を受賞。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。



©ヒダキトモコ

佐藤 晴真 Haruma Sato (チェロ)

ローム ミュージック フレンズ<ローム ミュージック ファンデーション2017、2018年度奨学生>

現在、その将来が最も期待される新進気鋭のチェロ奏者。2019年、ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。2018年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも泉の森ジュニア チェロ・コンクール金賞、全日本学生音楽コンクール第1位および日本放送協会賞、日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに、国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。テレビ、ラジオ番組にもたびたび出演。2018年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。2019年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイエンス＝ペーター・マインツ氏に師事している。2021年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりセカンドアルバム『SOUVENIR ～ドビュッシー&フランク作品集』をリリース。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。令和3年度文化庁長官表彰。第32回日本製鉄音楽賞受賞。現在、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE.ロッカ1903年。



朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)

横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く

活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。東京藝術大学客員教授。日本ロッシーニ協会副会長。



©Rowland Kirishima

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「輝しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども

担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。